

- 1 日時 令和7年11月〇日(〇) 第〇校時
- 2 学年 第2学年
- 3 単元名 「にっこりレンジャー★ ～〇〇のにっこりをさがすんじゃー!～」 内容(3)(8)
- 4 単元について

単元の目標

町の多様な場所、人に関わる活動や、身近な人々に伝え合う活動を通して、自分たちの生活は、様々な人や場所と関わっていることや、身近な人々と関わることのよさや楽しさが分かり、地域の人々やそこで生活したり働いたりしている人々について考え、相手のことを想像したり、伝えたいことや伝え方を選んだりすることができ、地域に親しみや愛着をもち、適切に接したり安全に生活したり、進んでふれあい交流しようとしている。

目指す子供の姿

- 自分たちの生活は、様々な人や場所と関わっていることや、身近な人々と関わることのよさや楽しさが分かっている。
- 地域の人々やそこで生活したり働いたりしている人々について考え、相手のことを想像したり、伝えたいことや伝え方を選んだりしている。
- 地域に親しみや愛着をもち、適切に接したり安全に生活したり、進んでふれあい交流しようとしている。

現在の子供の姿

本学級の児童は、自分の家の近くやよく行く場所については詳しく知っており、生活の中で見つけたお気に入りの場所についても楽しそうに話す姿が見られる。野菜作りや夏休み前の町探検で地域の方の一人と何度か関わるうちに、自らその方が管理する神社の「掃除のお手伝いがしたい。」と発言する児童がおり、その思いが子供たちへ広がり、生活科の授業で手伝いに行くことを計画した。このように、身近な地域に対して関心をもち、日常の体験を通して〇〇への愛着を感じている様子が伺える。しかし、学習の場面になると、「何を聞けばいいの。」「何をすればいいの。」と戸惑ったり、教師からの指示を待ったりする姿も多く見られる。自分の知っている事と探究活動を結び付けたり、疑問をもって気付きを深めたりする力はまだ十分に育っていない。そこで、児童一人ひとりの経験や関心を出発点にしながら、自分たちで行きたい場所を決めたり、何が知りたいのか、どうすれば分かるのかを考えたりすることを大切にしている。教師が適切に問いかけたり、見通しをもてるような支援を行ったりすることで、児童が自ら学びをつくりだす力を育てていくことを目指している。

また、町探検では、〇〇の様々な場所を実際に訪れたり、地域の方から話を聞いたりする中で子供たちは多くの発見や気付き、驚きを得ていた。探検中は、「地域の方が優しく教えてくれた。」「大学の図書館にはこんな工夫があるんだ。」など、目を輝かせながら〇〇の様子に関心をもち、主体的に活動に取り組んでいた。しかし、探検後に聞いたこと、分かったことをまとめる場面になると「何を書けばいいの。」「全部書きたいけど上手くできない。」と戸惑う姿が見られた。印象に残ったことや体験したことは話せても、それを目的に沿って整理したり、伝えたいこととしてまとめたりすることが難しい様子である。

単元の価値

子どもにとっての町とは、生活の舞台であるとともに、学びの対象であり、生活や学びを支えてくれる人たちが生活する身近な環境そのものである。その中で、子どもが町の人々や場所のよさに気付き、それらを大切にしたり積極的に関わったりすることによって、生きて働く力を育成することができる。

町探検は、町や社会との関わりをもち、町の人への愛着と信頼を醸成することのできる単元であり、中学年以降の社会科や総合的な学習の時間へつながるものである。探検活動は、子供たちの思いや願いに添って繰り返し行うことができ、その中で、それぞれに気付きの質や自分との関わりなどを変容させていくことができる。また、本校が進めている地域連携推進事業を活用することで、これまでの見学やインタビューだけでなく、お仕事体験などにも協力を仰ぎ、これまで以上に〇〇の町とのつながりを通して愛着を育むことが期待できる。

働きかけ・環境設定

課題設定の際には、町の野菜作り名人へ話を聞きに行ったり、移動途中の公園で遊んだりする活動を通して、〇〇には「やさしい人」や「楽しい場所」があることに気付けるようにした。また、今年度異動してきた教諭の前任校がある町について児童に紹介し、教諭から「〇〇にも素敵なおところがあるのかな？」と課題を提示し、児童が自分の町に関心をもち、主体的に学習を進めることができるようにした。夏休み前の探検で、児童たちは、たくさんの「にっこりポイント」（自分が笑顔になること・素敵・すごいと思うこと）や疑問を見付け、「にっこり発見マップ」にまとめることによって、どこにどんな「にっこりポイント」があるのかを知ることができた。「にっこり発見マップ」から、自分がさらに調べたいことや、関わってみたい人などを考え、一人ひとりの思いや願いを大切にしながら、訪問先を決めた。

自分が決めた訪問先での質問内容を考える場面では、訪問先の写真や「にっこり発見マップ」を参考にし、実際の様子を想像しながら、教師と児童が対話を繰り返し、知りたいことを整理し、質問を考える手掛かりとした。

探検活動中には、「にっこりポイント」を見付けるだけでなく、「お弁当の種類がたくさんあるのは、お客さんを喜ばせるため。」であることや、「めずらしい多肉植物を売っているのは、多肉植物の魅力を多くの人に知ってもらいたいから。」など、町の人々の工夫や熱意に触れられるよう「なぜ」という視点から気付きを深めることができるようにする。

単元の学習中は「にっこりプラン」を活用して学習の進捗状況を確認できるようにすることで、ゴールまでの学習の流れが明確になり、学習の進み具合や次に取り組むべきことを見通せるようにする。これにより、児童が主体的に学習を進めることができる。

以上のような町探検の学習を通して、自分の住む〇〇の町や人について知ること、子供たちが「〇〇には様々な場所があって、それぞれに思いをもった人がいる」ことや、「〇〇には、自分に関わってくれる人がたくさんいる」ことなど、町はたくさんの「にっこり」で溢れていることを実感し、より身近に感じられるようにしたい。そして、〇〇に愛されている児童の一人として、町の「にっこり」を守るために、「にっこりレンジャー」として、自分たちにできることを考え、主体的に行動に移すことができるようにしたい。

つながる学び

【学年目標】

今年の2年生の学年目標は、「笑顔（にっこり）」であり、一人ひとりのよさを見付け合い、大切にしていこうという気持ちで日々取り組んでいる。

日々の目標で意識している「にっこり」を町へ広げて、町の素敵なおところを見付けたり、町の人々の熱意に触れたりすることで、自分の住む町に愛着をもつことができ、〇〇を大切にすることを養う。

【国語科】

○ 「メモをとるとき」

町探検でインタビューをする際、メモを取る時に気を付けることを知るとともに、後から読み返してもよく分かるメモを書けるように、メモを友達と見せ合い、よりよいメモの取り方を学ぶ。

○ 「みの回りのものを読もう」

身の回りにある標識や看板などの工夫された情報の示し方を学習し、自分が町探検で得たことや伝えたいことを分かりやすく伝える工夫ができるようにする。

○ 「あったらいいなこんなもの」

相手の考えを詳しく知るために、大事なことは何かを考えて質問する。「どうして」「何が」「どれくらい」「どんな」などの疑問詞を用いて質問することで、インタビューの際に、より具体的な相手の考えを引き出す力を身に付ける。

【掲示】

「にっこりはっ見マップ」や、「つながり列車」で、町探検で出会った方を掲示し、自分の住む町に関心を持ち、いつでも見たり、触れたりできるようにする。今までの学習の足跡、写真などを提示し、子供たちの思考の手立てとなるようにする。

また、国語科の話す・聞く学習に関連する内容を掲示することで、友達の意見を自分事として聞き、自分の考えと照らし合わせることができるようにする。

【タブレット学習】

日ごろからタブレットに触れる機会を作るとともに、文字打ちや、スライドの作り方を練習し、子どもたちの表現方法を広げる。

【地域連携推進事業】

本校が推進している町人材とのつながりを活用することで、町の方の町に対する思いに気付き、〇〇に愛着をもつことができるようにする。

【1年生 生活科】

1年生では、公園での遊びや、観察を通して、身近な自然や人との関わりに気付く学習をし、その中で「見つける」「ふしぎに思う」「マナーを守る」「友達と協力する」などの経験をしている。

2年生では、関わる対象を町へと広げ、〇〇にある施設や働く人々に目を向けていく。その中で、「自分なりの問いをもち、町の様子や人の工夫を主体的にさぐる力」へと発展させていく。

【3年生 社会科】

町探検では、地域にある施設や人との関わりを通して「自分たちの生活が地域によって支えられていること」や「地域には多くの工夫や役割があること」に気付く。

3年生では、「地域社会を客観的に見る力」や「人の働きを仕組みとして捉える力」へと発展していく基盤となる。

5 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
○ 町の多様な場所や、身近な人々と関わる活動や、身近な人々と伝え合う活動を通して、自分たちの生活は様々な人や場所と関わっていることに気付き、身近な人々と関わることのよさや楽しさが分かっている。	○ 町の多様な場所や人々に関わる活動や、身近な人々と伝え合う活動を通して、地域の人々やそこで生活したり働いたりしている人々について考えることや、相手のことを想像し、伝えたいことや伝え方を選んだりすることができる。	○ 町の多様な場所や人々に関わる活動や、身近な人々と伝え合う活動を通して、地域に親しみや愛着をもち、適切に接したり安全に生活したり、進んでふれあい交流しようとしている。
① 他のグループの発表から、今までとは違った町のよさに気付いている。	① これまでの町探検を思い起こして、より関わりを深める方法を話し合っている。	① 町の人々に関わることへの期待をもって、考えたり、話し合ったり、計画を立てたり、気付きを深めたりしようとしている。
② 町の人々と交流する楽しさや町の人々のよさに気付いている。	② もっと知りたいことやしてみたいことを分けたり、ふさわしい行動を予想したりしながら、計画を立てたり約束を決めたりしている。	② 目的意識をもって町の方の様子を観察し、インタビューをしたり、気付きを深めようとしたり、発表の準備をしたりしようとしている。
③ 自分の気持ちが相手に伝わることの嬉しさに気付いている。	③ 地域の方の工夫や努力、体験した仕事の難しさ、大変さ、喜びなどについて考えている。	③ 相手意識をもちながら、「にっこりおつたえ大作戦」の準備をしようとしている。
	④ 相手のことを思い浮かべながら、感謝の気持ちを伝えるための方法を考えている。	④ 町の場所や人々に親しみや愛着をもち、身近な人々と関わることのよさや楽しさを実感し、多様な人々との関わりを自ら築いていこうとしている。

6 指導と評価の計画（全34時間）

小単元名	主な活動内容	知	思	態	評価方法
たんけんのことを思い出そう。 (1 h)	<ul style="list-style-type: none"> ・ にっこり発見マップをもとに、夏休み前に見付けた「にっこりポイント」や「はてな？」を振り返り、にっこりレンジャーとして、さらなる町のにっこりポイントや疑問を解決していくという目的意識をもつ。 		①		行動 発言
「にっこりポイント」をさがすために、じゅんぴをしよう。 (5 h)	<ul style="list-style-type: none"> ・ さらなる「にっこりポイント」を探すために、一人ずつ「にっこりプラン」を作成する。 ・ インタビューする内容や、やりたいことを考えたり、町探検に行く場所について調べたりする。 ・ インタビューの練習や町探検をする際のルールを確認する。 ・ 探検する場所について、行く日やお願いしたいことを手紙で適切にお願いをする。 		①	①	行動 発言 ワークシート
「にっこりポイント」について、もっと知りたいことをしらべよう！！ (15 h)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 町の方の様子を観察したり、インタビューをしたりする。(訪問1回目) ・ 分かったことを振り返り「つながり列車」にまとめる。 ・ もっと調べたいことを解決するために、「にっこりプラン」を作成する。 ・ さらにインタビューしたい内容や、やりたいことを考えたり、町探検に行く場所について調べたりする。 ・ インタビューの練習や町探検をする際のルールを確認する。 ・ インタビューをしたり、体験をしたりする。(訪問2回目) ・ 分かったことを振り返り、「つながり列車」にまとめる。 	②	②	②	行動 発言 ワークシート
「にっこりおつたえ大さくせん」をしよう。 (3/12 h)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 伝えたい相手(お家の方・他学年・地域の方)を意識し、つながり列車や動画、写真を使いながら、「にっこりおつたえ大さくせん」の準備を行う。 ・ 「にっこりおつたえ大さくせん」を行い、感想をもらおう。 ・ お世話になった地域の方へ、感謝を伝える方法を考え、準備する。 ・ お世話になった地域の方へ感謝を伝える。 	① ③	③ ④	③	行動 発言 ワークシート
何をかんじたかな。 (1 h)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 町のために、自分にできることを考え、「つながり列車」にまとめる。 ・ 町探検で学習したことを振り返る。 			④	行動 発言 ワークシート

7 本時の目標

相手意識をもちながら、にっこりおつたえ大作戦の準備をしようとしている。

【 主体的に学習に取り組む態度 ③ 】

8 本時の学習展開

学習活動	働きかけ（目指す子供の姿のために）				
<p>1 前時までの学習を振り返る。</p> <p>2 本時のめあてを確認する。</p>	<p>○ 誰にどの方法で伝えたいか振り返り、今日の学習の見通しをもてるようにする。</p>				
<p>「にっこりおつたえ大さくせん」のじゅんぴをしよう！</p>					
<p>3 発表の準備をする。</p> <p>こいのぼりチーム</p> <p>上田まさゆきさんから、マッサージしてもらって足がめっちゃ楽になったけ、お母さんにも行ってほしいなあ〜。僕がマッサージしてもらった写真見てもらおう！</p> <p>いなかや弁当チーム</p> <p>池ひとみさんが、夜中の12時からおいしいお弁当を作ってもらってびっくりした！お弁当もおいしかった〜！書きたいことが決まったけ、池さん新聞を作って、学校みんなに伝えよう！</p> <p>上野園げいチーム</p> <p>上野ゆかりさんから、新発売予定のジュース飲ませてもらってめっちゃおいしかったあ〜！地域の人に知らせたいけ、ポスターにしたいけど、どんなこと書こうかなあ〜。どう思う？</p>	<p>○ 一人ひとりが主体的に学習に取り組めるように、本時の学習の流れや時間などを確認し、板書する。</p> <p>○ 表現方法を提示しておき、迷ったり、やり直したりしたい時に活用できるようにする。</p> <p>○ 個別で準備を行うが、困った時にすぐ相談し合えるように、同じ探検場所の児童の席を近くにしておく。</p> <p>○ 自分の見つけた「にっこりポイント」「ほっこりポイント」が伝わるようにするには、どうすればよいか考えられるようにするために、「思い出しコーナー」（つながり列車・町たんけんの動画・写真・探検手帳）を設け、いつでも思い出すことができるようにする。</p> <p>○ 伝えたい相手のために、児童と教師が丁寧に対話を行いながら、自分の思いや願いを実現できるようにする。</p>				
<p>本時の見どころ【自分力】</p> <p>★ 「思い出しコーナー」「今までの濃い体験活動」により、相手に伝えたいという自分の思いや願いを強く持ち、発表の準備に没頭できるようにする。</p>					
<p>○自分力（主体性）</p> <table border="1" data-bbox="114 1742 767 1984"> <tr> <td data-bbox="114 1742 181 1863">A</td> <td data-bbox="181 1742 767 1863">今までの町探検を思い出しながら、自分の願いや思いをもち、粘り強く「にっこりおつたえ大作戦」の準備をしようとしている。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="114 1863 181 1984">B</td> <td data-bbox="181 1863 767 1984">今までの町探検を思い出しながら、自分の願いや思いをもち、「にっこりおつたえ大作戦」の準備をしようとしている。</td> </tr> </table> <p>4 本時の振り返りを行う。</p>	A	今までの町探検を思い出しながら、自分の願いや思いをもち、粘り強く「にっこりおつたえ大作戦」の準備をしようとしている。	B	今までの町探検を思い出しながら、自分の願いや思いをもち、「にっこりおつたえ大作戦」の準備をしようとしている。	<p>○ 粘り強く（何度も見返して最後までやり遂げようとしている児童を見付け、価値付けをすることで、自分力を意識しながら取り組めるようにする。</p> <p>○ 振り返りカードを活用することで、自分力・今日の</p>
A	今までの町探検を思い出しながら、自分の願いや思いをもち、粘り強く「にっこりおつたえ大作戦」の準備をしようとしている。				
B	今までの町探検を思い出しながら、自分の願いや思いをもち、「にっこりおつたえ大作戦」の準備をしようとしている。				

新聞づくりをしているけれど、池ひとみさんのほっこりポイントがありすぎて、まだ書きたいことがあります！次はその続きがしたいです！

私は山下あきこさんが、多肉植物のお世話の仕方を教えてくれて楽しかったので、友達にクイズで伝えます。どんなクイズにしようか悩んでいたら、〇〇君と一緒に考えてくれて、嬉しかったです！

僕は、すごく素敵なポスターができあがりそうなのでみんなに早く見てもらいたいです！

学習の振り返りができるようにする。

- 困った時には、友達に相談することで悩みが解決したという協働学習の良さを感じられるようにするために、発表の準備をしている中で、自分が困ったことや助けてもらったことを発表させ、みんなで共有する。
- 今回、自分がしたかったことができたかを振り返り、次どんなことをしたいか、共有し、主体的に活動を進められるようにする。

8-1 板書計画

にっこりレンジャーたんけんたい★長つか西のにっこりをさがすんじゃー！
自分力 ねばりづよく◎

⑧ にっこりおつたえ大きくせんのじゅんぴをしよう。

時こく	時間	
	30分	① じゅんぴ
	8分	② ふりかえり
	2分	③ いどう
	5分	④ つたえあい

すごろく

〇〇 〇〇 〇〇

〇〇 〇〇 〇〇

スライド

〇〇 〇〇 〇〇

〇〇 〇〇 〇〇

ポスター

〇〇 〇〇 〇〇

〇〇 〇〇 〇〇

マップ

〇〇 〇〇 〇〇

〇〇 〇〇 〇〇

紙しばい

〇〇 〇〇 〇〇

〇〇 〇〇 〇〇

クイズ

〇〇 〇〇 〇〇

〇〇 〇〇 〇〇

つぎ！！

- つづきをしたい！
- そうだんしたらかいけつ！
- 見てほしい！

9 本時の評価規準と目指す子供の姿

本時の評価規準	目指す子供の姿
<p>【 主体的に学習に取り組む態度 ① 】</p> <p>目的意識をもちながら、にっこりおつたえ大作戦の準備をしようとしている。</p> <p>(行動・発言・ワークシート)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 新聞づくりをしているけれど、池ひとみさんのほっこりポイントがありすぎて、まだ書きたいことがあります！次はその続きがしたいです！ ○ 私は山下あきこさんが、多肉植物のお世話の仕方を教えてくれて楽しかったので、友達にクイズで伝えます。どんなクイズにしようか悩んでいたら、〇〇君と一緒に考えてくれて、嬉しかったです！ ○ 僕は、すごく素敵なポスターができあがりそうなのでみんなに見てもらいたいです！

10 本時の見どころ

- ・ 【自分力】 「思い出しコーナー」「今までの濃い体験活動」により、相手に伝えたいという自分の思いや願いを強くもち、発表の準備に没頭している姿。